

令和5年度 中学校教育課程

教科	1年	2年	3年	時間数	備考
国語	5	4	4	13	
書写	1	1	1	3	
社会	3	4	4	11	
数学	6	4	5	15	
理科	3	4	4	11	2、3学年は土曜授業を含む
音楽	1.29	1	1	3.29	
美術	1.29	1	1	3.29	
保健体育	2	2	2	6	
武道	1	1	1	3	2年次より柔道・剣道のいずれかを選択
技術家庭	2	2	1	5	
外国語(英語)	7	5	5	17	
小計	32.58	29	29	90.58	
道徳	1	1	1	3	
特活(LHR)	1	1	1	3	
総合的な学習の時間	2	2	2	6	
合計	36.58	33	33	102.58	

(注)

- ・ 授業時間は1時間を50分とする。
- ・ 音楽は「歌舞伎鑑賞教室」、「能楽鑑賞教室」等を含む。
- ・ 美術は「芸術鑑賞教室」等を含む。
- ・ 総合学習には「移動教室」、「文化祭」、「弁論大会」等を含む。
- ・ 第2、3学年の土曜日を「flexible Saturday」として柔軟な授業設定をし一定期間(3か月、前、後期)で学習計画を立てる。

令和5年度 中学校使用教科書

種目	発行者	教科書名	学年		
			第1学年	第2学年	第3学年
国語	東書	新しい国語	第1学年	第2学年	第3学年
書写	東書	新しい書写	第1学年	第2学年	第3学年
地理	帝国	社会科 中学生の地理	第1学年		
歴史	帝国	社会科 中学生の歴史		第2学年	
公民	東書	新しい社会 公民			第3学年
地図	帝国	中学校社会科地図	第1学年		
数学	啓林館	未来へひろがる数学	第1学年	第2学年	第3学年
理科	啓林館	未来へひろがるサイエンス	第1学年	第2学年	第3学年
音楽	教出	中学音楽 音楽のおくりもの 1	第1学年		
	教出	中学音楽 音楽のおくりもの 2・3上下		第2学年	第3学年
器楽	教出	中学器楽 音楽のおくりもの	第1学年	第2学年	第3学年
美術	日文	美術1 美術との出会い	第1学年		
	日文	美術2・3上 学びの実感と広がり		第2学年	第3学年
	日文	美術2・3下 学びの探求と未来		第2学年	第3学年
保体	大修館	最新 中学保健体育	第1学年	第2学年	第3学年
技術	開隆堂	技術・家庭 技術分野	第1学年		第3学年
家庭	開隆堂	技術・家庭 家庭分野		第2学年	第3学年
英語	三省堂	NEW CROWN	第1学年	第2学年	第3学年
道徳	東書	新訂 新しい道徳	第1学年	第2学年	第3学年

教科	国語	科目	国語	授業 時数		週4時間		教材	新しい国語(東京書籍) 論理エンジンOS3, 4	種別	中学	
学年 組 類型	中学校2年1組, 2組											
時期		項目				到達目標						
前期	4月	未来へ 漢詩 望郷の詩—杜甫と李白					詩の構成、特徴を理解し、作者の主張を感じる。 漢詩の構成、内容を理解する。 作者や舞台背景を知る。					
	5月	落葉松 わたしが一番きれいだったとき 枕草子 書き手の肖像—清少納言と兼好法師 漢字検定対策					詩に描かれた情景や心情を捉え、リズムを感じ取る。 詩に描かれた社会や人間について考える。 自然や事物に対する筆者の感じ方を理解する。 漢字能力検定試験の対策をする。					
	6月	走れメロス 第1回定期試験					主人公の成長と登場人物の関係性を読み取る。					
夏 休 み		論理エンジン 学習漢字トレーニング 短歌、俳句										
前期	9月	短歌を楽しむ 日本語検定対策					短歌の構成、特徴を理解し、短歌鑑賞をする。 日本語能力検定試験の対策をする。					
後 期	10月	坊っちゃん 文法					名作に親しみ、主人公の考え方を探る。 分の組み立てを理解し、口語文法を身につける。					
	11月	カメレオン					外国文学の表現に慣れ、人間の行動について考える。					
	12月	徒然草 第2回定期試験					随筆に表れた作者の考え方を理解する。					
冬 休 み		論理エンジン										
後 期	1月	卒業ホームラン					小説を読んで、主人公の成長、親の愛情を理解する。					
	2月	ハトはなぜ首を振って歩くのか 平家物語					情報を整理し、実生活に役立てる。 和漢混交文の特徴を捉え、表現の工夫を読み解く。 ※授業内において「防災」に関する内容に触れる。					
		第3回定期試験										
春 休 み		論理エンジン 学習漢字トレーニング										

備考

(1)特徴

- ・「論理エンジン」を使い言語と論理力を磨き国語力をあげる。
- ・「日本語能力検定」5級を受検することで論理力、コミュニケーション能力の確認をする。
- ・「日本漢字能力検定」5級を受検することで四字熟語などの基礎的な知識や丁寧な漢字の書き取りを確認する。

(2)使用教材

- ・教科書
- ・ノート(縦書き)
- ・国語便覧(資料集／3か年使用)
- ・漢検学習漢字トレーニング(漢字力養成／3か年使用)
- ・新しい国語 ワークブック(予習復習・家庭学習用ワークブック)
- ・学習漢字ノート(予習復習・家庭学習用)
- ・論理エンジン OS3・4
- ・論理エンジン 誌上講義 OS3・OS4(予習復習・家庭学習用)

(3)授業スタイル

- ・教科書3時間、論理エンジン1時間の週4時間

(4)論理エンジン シラバス

- ・4月～9月 論理エンジン OS3
- ・10月～3月 論理エンジン OS4

(5)試験

- ・第一回 試験範囲＝詩一編・走れメロス・清少納言と兼好法師・枕草子・漢詩・論理エンジン
- ・第二回 試験範囲＝短歌・坊ちゃんorカメレオン・徒然草・論理エンジン
- ・第三回 試験範囲＝卒業ホームラン・小さな労働者・平家物語・論理エンジン

※試験は基本的に、「小説」「説明文」「古典」「論理エンジン」の四項目からなる。

教科	国語	科目	書写	授業 時数		週 1 時間		教材	東京書籍 新しい書写	種別	中学
学年 組 類型	中学校2年1組, 2組										
	時期	項目			到達目標						
前期	4月	書写の学習について。 用具用材について。姿勢。用筆法。 1年時の復習。 防災に関する内容を扱う。			楷書・行書の復習。 姿勢、筆記具の持ち方、点画の書き方と字形。 日常生活または災害などの緊急時に使用する文字について調べる。						
	5月	楷書で書こう。 漢字と仮名を調和させて書こう。 身の回りの文字の目的と工夫。			字形、文字の大小、配列・配置の調和。 毛筆と硬筆の違い。						
	6月	楷書の練習。行書の復習。 本や物のポップを書く。			字形、文字の大小、配列・配置の調和。 毛筆と硬筆の違い。						
	7月	行書の練習。 漢字と仮名を調和させて書こう。2～6文字。			基本的用筆と省略の方法。 正しい筆脈の理解。字形を整える。文字の大小。 配列・配置。						
夏 休 み		鑑賞			日常生活にある書を探求						
前期	9月	漢字と仮名を調和させて書こう。			行書の定義、基本的用筆と表現方法。脈絡の貫通、点画の変化。点画の連続と省略、平仮名の位置付け。仮名の成立。						
後期	10月	漢字と仮名を調和させて書こう。2～6文字。			いろは単体の反復練習。 行書と仮名の調和。 筆脈の連続。点画の省略。						
	11月	行書の漢字と仮名を調和させて書こう。2～6文字。			読みやすい漢字(楷書・行書)と仮名を調和させて書く。						
	12月	漢字と仮名を調和させて書こう。書き初めの練習。 第2回定期試験			漢字と仮名の大きさ。字形。行の中心。 余白・字間・行間の取り方。 用紙の大きさによる変化。						
冬 休 み		書き初め。			宿題。						
後期	1月	校内書き初め展。 書写を生活の中に生かす。			書き初めについて。 行事などの案内・調べ学習をまとめ発表する。						
	2月	書写を生活の中に生かす。			封筒、便箋、はがき、色紙に書くときの毛筆と硬筆の違い。						
春 休 み											

教科	社会	科目	社会(歴史)	授業 時数		週4時間		教材	中学生の歴史 (帝国書院)	種別	中学
学年 組 類型	中学校2年1組, 2組										
	時期	項目			到達目標						
前期	4月	第2部 古代国家の成立と東アジア 第1章 人類の登場から文明の発生へ			人類がどのように進化し、文明の誕生につながったか。 縄文から弥生、ムラからクニに変わることでの生活がどのように変化したか。さらに、中国からの影響について学ぶ。						
	5月	第2章 東アジアの中の倭 第3章 中国にならった国家づくり									
	6月	第4章 展開する天皇・貴族の政治 第3部 武家政権の成長と東アジア 第1章 武士の世の始まり			桓武天皇の政治、藤原氏が行った摂関政治を理解する。 武家政権の特色を理解する。 元寇について学び、以後社会がどのような変化をしたか理解する。						
	7月	第2章 武家政権の内と外 【第1回定期試験】									
夏 休 み		状況により夏の宿題									
前期	9月	第3章 人々の結びつきが広まる社会			室町期の社会の特色を理解する。民衆の団結と行動、庶民に広がる文化について理解する。						
後期	10月	第4部 武家政権の展開と世界の動き 第2章 戦乱から全国統一へ			織豊政権による全国統一と文化について学ぶ。						
	11月	第3章 武士による支配の完成 第4章 天下泰平の世の中									
	12月	第5章 社会の変化と幕府の対策 第5部 近代国家の歩みと国際社会			江戸幕府の成立から江戸時代初期の政治・外交を学ぶ。 貨幣経済の広まりと、諸産業、交通について学ぶ。 享保期からの社会変化に対する諸改革のそれぞれの違いを把握する。 江戸の都市づくりにおける防災的な視点を学ぶ。						
		【第2回定期試験】									
冬 休 み		状況により冬の宿題									
後期	1月	第2章 開国と幕府の終わり 第3章 新しい価値観の下で			開国要求が強化されていった背景とそれに伴う幕藩体制の求心力の低下を理解する。 自由民権運動から憲法制定、国会開設の経緯を理解する。 日清・日露戦争に至る過程と経緯、その後の影響を学ぶ						
	2月	第4章 近代国家への歩み 第5章 帝国主義と日本									
	3月	第6部 二度の世界大戦と日本 【第3回定期試験】			大戦に至る経緯、震災の影響と復興を、防災的な視点を含め学ぶ。 開国と幕府の終わり～二度の世界大戦と日本						
春 休 み					年間を通し、都市づくりや復興開発など防災的な視点を取り入れる。						

教科	数学	科目	数学	授業 時数		週4時間		教材	啓林館 未来へひろがる数学2	種別	中学
学年 組 類型	中学校2年1組, 2組										
時期	項目		到達目標								
前期	4月	1章 式の計算 1. 式の計算 2. 文字式の利用	ア. 文字を用いた式に関するいろいろな用語の意味を理解し、それが正しく使えるようにする。 イ. 簡単な単項式、多項式での加法、減法、および、単項式どうしの乗法、除法の計算ができるようにする。 ウ. 文字を用いた式で数量や数量の関係をとらえ説明することを理解できるようにする。 エ. 目的に応じて簡単な等式を変形できるようにする。								
	5・6月	2章 連立方程式 1. 連立方程式 2. 連立方程式の利用	ア. 2つの文字を含む等式から文字の値が求められることを知る。 イ. 連立二元一次方程式の必要性和意味、および、その解の意味を理解する。 ウ. 連立二元一次方程式の解法を理解し、その解法に習熟する。 エ. 問題解決の場面で連立二元一次方程式を活用することができるようにする。								
	6月	試験(1・2章)									
	6・7月	3章 一次関数 1. 一次関数とグラフ	ア. 一次関数の意味を理解し、身のまわりの事象の中から、一次関数とみられるものを見つけることができるようにする。 イ. 一次関数の特徴を理解し、一次関数のグラフがかけられるようにする。 ウ. 直線が与えられているとき、その直線の式が求められるようにする。								
	7月	第1回定期試験(2・3章)									
夏休み	7・8月	夏期課題									
前期	9月	◎ 防災学習	数学を通して防災について学ぶ。								
		3章 一次関数 2. 一次関数と方程式 3. 一次関数の利用	エ. 一次関数のグラフと二元一次方程式のグラフとの関係や連立方程式の解とグラフとの関係を明らかにする。 オ. 具体的な事象を一次関数とみなし、それを問題解決に利用できるようにする。								
後期	10月	4章 図形の調べ方 1. 平行と合同	ア. 対頂角の性質、平行線と角の関係について調べる。 イ. 三角形の内角の和について調べ、それをもとにして多角形の角について調べる。 ウ. 合同な図形の性質、三角形の合同条件などを明らかにする。 エ. 「証明」することの意義としくみについて理解する。								
	10月	試験(3・4章)									
	11・12月	2. 証明	オ. 平行線と角の関係や三角形の合同条件を根拠にした証明の進め方や図形の性質の調べ方について理解する。								
		5章 図形の性質と証明 1. 三角形	ア. 三角形の合同条件を使って、二等辺三角形の性質を証明し、図形の性質の調べ方を理解する。 イ. 直角三角形の合同条件を導き、その使い方を理解する。								
	12月	第2回定期試験(4・5章)									
冬休み	12・1月	冬期課題									
後期	1月	5章 図形の性質と証明 2. 四角形	ウ. 平行四辺形の性質や平行四辺形になる条件について理解する。 エ. 長方形、ひし形、正方形と平行四辺形の関係、平行線による等積変形などについて理解する。								
	1・2月	6章 場合の数と確率 1. 場合の数と確率	ア. 確率の必要性和意味を理解し、簡単な場合について確率を求めることができるようにする。 イ. 確率を用いて不確実な事象をとらえ説明することができるようにする。								
	2月	7章 箱ひげ図とデータの活用 1. 箱ひげ図	ア. 箱ひげ図や四分位範囲の必要性和意味を理解する。 イ. 箱ひげ図や四分位範囲を用いてデータの分布の傾向を比較して読み取り、批判的に考察し判断できるようにする。								
	3月	第3回定期試験(5・6・7章)									
春休み	3月	春期課題									

教科	理科	科目	理科	授業 時数	週4時間	教材	未来へひろがるサイエンス2 (啓林館)	種別	中学
学年 組 類型	中学校2年1組, 2組								
	時期	項目			到達目標				
前期	4月	生命: 生命の体のつくりとはたらき ・生物とはなんだらう 1章 生物の体をつくるもの			植物・動物の違いについて再認識する。 細胞の構造から、生物の成り立ちを理解する。				
	5月	2章 植物の体のつくりとはたらき 3章 動物の体のつくりとはたらき			植物の生命維持のメカニズムを理解する。 動物の生命維持のメカニズムを理解する。				
前期	6月	4章 動物の行動のしくみ 地球: 地球の大気と天気の変化 ・天気について考える 1章 地球をとり巻く大気のように 2章 大気中の水の変化			感覚器官のメカニズムを理解し、運動の仕組みを知る。 風や天気の変化によってつくられる現象のしくみを考える。 大気圧、気象要素について学び、大気について理解する。 大気中に含まれる水の変化について理解する。				
	7月	第1回定期試験			生命: 生命の体のつくりとはたらき 地球: 地球の大気と天気の変化(1章・2章)				
夏 休 み		宿題							
前期	9月	3章 天気の変化と大気の動き 4章 大気の動きと日本の四季 ※天気に関する防災の授業を行う			大気の動きと前線について理解する。 大気の動きから日本の四季の特徴を知る。				
後期	10月	物質: 化学変化と原子・分子 1章 物質の成り立ち			化学反応について学び、原子と分子の特徴を理解する。				
	11月	2章 物質の表し方			元素記号と化学式を学び、化学反応式を理解する。				
後期	12月	3章 ささまざまな化学変化 4章 化学変化と物質の質量			酸化と還元のしくみを理解する。 化学反応と質量の関係を理解する。				
		第2回定期試験			地球: 地球の大気と天気の変化(3章・4章) 物質: 化学変化と原子・分子				
冬 休 み		宿題							
後期	1月	エネルギー: 電流とその利用 ・電気の利用について考える 1章 電流の性質 2章 電流の正体			電気の現在の活用のされ方を考える。 電気の性質を知り、電流は電気の流れであると理解する。 電子の性質を学び、電流との関係を理解する。				
	2月	3章 電流と磁界			電流と磁界の関係を知り、生活の中で電流がどのようにして利用されているのかを知る。				
	3月	第3回定期試験			エネルギー: 電流の性質とその利用				
春 休 み					※各時期、必要に応じて実験、実習をおこなっていく。				

教科	音楽	科目	音楽	授業 時数	週1時間	教材	音楽のおくりもの 中学音楽2 (教育出版) 音楽の基本ワーク 2年 (新学社)	種別	中学
学年 組 類型	中学校2年1組, 2組								
時期	項目				到達目標				
第1週 ↘ 第3週	オリエンテーション 歌唱「館歌」 歌唱「君をのせて」 楽典Ⅰ「音部記号, 拍子記号, 音名」 楽典Ⅱ「音符と休符, 反復記号」				国士館生として、館歌について深く理解しながら歌唱する。 拍子によって、響きのある声で歌唱する。 音楽の基礎知識を身につける。				
第4週 ↘ 第6週	歌唱「浜辺の歌」 楽典Ⅲ「変化記号, 異名同音, 音階」 オーケストラを知ろう				歌い継がれた日本の歌を、言葉を大切に歌唱する。 音楽の基礎知識を身につける。 楽器の分類や特徴を理解し、響きの関わりを感じ取る。				
第7週 ↘ 第10週	合唱「語りあおう」 音楽史 鑑賞「小フーガト短調」 実技試験				合唱の響きに慣れ親しむ。 音楽の歴史と、代表的な作曲家、作品を知る。 演奏楽器や曲想の変化、形式、構成を理解して鑑賞する。				
第11週 ↘ 第16週	合唱 指揮法 鑑賞「ブルタバ」 災害時における音のはたらき 発表・実技試験				自分のパートの役割を理解して歌唱する。 音楽の表現方法を学ぶ。 作曲者の思いを感じ取りながら、音楽を味わう。 防災と音の関わりについて学ぶ。				
備考	前期 1組:美術 2組:音楽 後期 1組:音楽 2組:美術								

教科	美術	科目	美術	授業 時数		週2時間		教材	美術2・3上下 (日本文教出版)	種別	中学
学年 組 類型	中学校2年1組,2組										
時期		項目				到達目標					
前期	4月	ロゴ・フォントを学ぶ				<ul style="list-style-type: none"> ・日常生活における観察力の向上。 ・基本となるデッサンの技術を体得し、立体の描写ができるようになる。 ・今後様々なコミュニケーションにおいて、自分のイメージをビジュアル化することができる。 ・デザイン画から粘土による立体化～着彩を経て、製品の成り立ちを理解する。 					
	5月	絵画表現を学ぶ									
	6月	プロダクトデザイン(彫塑)を学ぶ									
	7月	第1回定期試験									
夏休み											
前期	9月	防災ポスター制作				<ul style="list-style-type: none"> ・自身の防災の意識を高め、他者への発信、伝達を達成する。 					
後期	10月	防災ポスター制作				<ul style="list-style-type: none"> ・自身の防災の意識を高め、他者への発信、伝達を達成する。 ・デザイン画から粘土による立体化～着彩を経て、製品の成り立ちを理解する。 					
	11月										
	12月	プロダクトデザイン(彫塑)を学ぶ									
冬休み											
後期	1月	プロダクトデザイン(彫塑)を学ぶ				<ul style="list-style-type: none"> ・日常生活における観察力の向上。 ・基本となるデッサンの技術を体得し、立体の描写ができるようになる。 ・今後様々なコミュニケーションにおいて、自分のイメージをビジュアル化することができる。 					
	2月	ロゴ・フォントを学ぶ									
	3月	絵画表現を学ぶ 第3回定期試験									
備考	〈使用画材・教材〉										
	画用紙・鉛筆・消しゴム・マーカー・接着剤・アクリル絵具・筆・カッター・粘土・へら 等										
前期 1組:美術 2組:音楽 後期 1組:音楽 2組:美術											

教科	保健体育	科目	体育	授業 時数	週2時間	教材	最新中学校保健体育(大修館書店) ステップアップ中学体育(大修館書店)	種別	中学	
学年 組 類型	中学校2年1組, 2組(男子)									
時期	項目				到達目標					
前 期	4週	【ガイダンス】 【集団行動】 挨拶、集合、整頓、方向変換などの行動様式や授業時の「きまり」や「約束ごと」を理解させる。				【防災教育】 「生命を守る」ことにおいて体育と防災教育は共通することを理解する。各種目を通して体育で育成される体力・運動能力を、災害から身を守る行動に役立てる。				
	3週	【ダンス】 1) 基本的運動 ・歩く、回る、止まる、走る、跳ぶなどの基本的な運動の習得。 2) モチーフ作り ・伸びる、縮むなどの動きを合わせ、1群で同方向、2～3群で方向、時間を変える。 3) 動作の連続 ・フレーズ作りと変化・発展的な動きを生かし、少人数による作品作り。 4) 試験 【体づくり運動】 <新体力テスト> 握力・上体起こし・長座体前屈・反復横とび・50m走・20mシャトルラン・立ち幅跳び・ハンドボール投げ				集団行動のおもな行動様式を身に付け、機敏・的確に行動する。集団の約束やきまりを守り、お互いに協働して行動する。 グループごとに題材のイメージにふさわしい動きを表現できることと、表現力豊かに気持ちを込めて踊ることができるようにする。				
夏休み		レポート課題								
後 期	2週	【ハードル走】 1) ハードリング(振り上げ足、抜き足) 2) インターバル走(リズム) 3) 試験				インターバルの技術を身につけたり、ハードリングの技能を高めたならば、自分の記録に挑戦したり競争し合って記録を高める。				
	4週	【ソフトボール】 1) 守備の基本的技能 ・キャッチボール(送球と捕球) ・キャッチング(ゴロ、フライ) ・ピッチング 2) 攻撃の基本的技能 ・バッティング(トスバッティング、ティーバッティング) 3) ミニゲーム				投げる、捕る、打つ、走るなどの基本的技能を身に付け、ゲームができるようにする。				
	2週	【保健】 保健③ 生活習慣の健康への影響 1. 生活習慣病 2. 生活習慣病の予防 3. がんとその予防 4. 生活習慣病・がんの早期発見とその回復				生活習慣病に起因する病気の総称を生活習慣病と呼び、心臓病や脳卒中、歯周病などがあることについて理解する。 運動不足や食事の質と量のかたよりなどの不適切な生活習慣が生活習慣病のリスクを高めることについて理解する。 不適切な生活行動を若い年代から続けることによって、やせや肥満、動脈硬化などの危険な変化が進行することについて理解する。 予防の基本は健康的な生活習慣を続けることであり、中学生のいまから継続することが重要であることについて理解する。 がんは身近な病気であり、胃がんや大腸がんなど、さまざまな種類があり、その種類や状態によって原因の発見のしやすさが異なることについて理解する。 がんは健康的な生活習慣を続けることである程度防げる病気であることについて理解する。 生活習慣やがんは、健康診断やがん検診で早期に異常を発見できることについて理解する。 生活習慣やがんは、早期の治療が命を救い、回復を早めることについて理解する。				
	4週	<最後の1時間で授業内試験を実施> 【バレーボール】 1) 基本的技能 ・パス(1対1、円陣パス) ・サーブ 2) 集団的技能 ・三段攻撃 ・サーブレシーブ 3) ゲーム				基礎的な技能を身につけ、サーブをレシーブし、トスの技術を習得し3回で相手コートに返球できるようにする。また、その攻防での防御の技能を身につけ、ゲームができるようにする。				
2週	【保健】 保健③ 生活習慣の健康への影響 1. 喫煙と健康 2. 飲酒と健康 3. 薬物乱用と健康 4. 喫煙・飲酒・薬物乱用のきっかけと対処				たばこの煙に含まれる有害物質とその急性影響について理解する。 常習的な喫煙による健康被害や受動喫煙の害、若者への害について理解する。 アルコールは脳の働きを低下させる強い作用があり、これにより心や体が影響を受け、様々な問題が引き起こされることについて理解する。 アルコールには依存性があること、継続的な大量飲酒によりさまざまな健康問題が引き起こされること、特に若者には危険があることについて理解する。 薬物乱用によって錯乱状態や急死などを引き起こすこと、薬物乱用により依存症状があらわれ、さまざまな障害が起きることについて理解する。 薬物乱用には、暴力、飛行、犯罪など家庭・学校・地域社会にも深刻な影響を及ぼすこともあることについて理解する。 飲酒・喫煙・薬物乱用には心理的要因や社会的要因があることに基づき、自分の生活経験と関連付けて理解する。 心理的要因と社会的要因に適切に対処するためのポイントについて理解する。					
		<最後の1時間で授業内試験を実施>								

教科	保健体育	科目	体育	授業 時数	週2時間	教材	最新中学校保健体育(大修館書店) ステップアップ中学体育(大修館書店)	種別	中学	
学年 組 類型	中学校2年1組, 2組(女子)									
時期	項目				到達目標					
前 期	4週	【ガイダンス】 【集団行動】 挨拶、集合、整頓、方向変換などの行動様式や授業時の「きまり」や「約束ごと」を理解させる。				【防災教育】 「生命を守る」ことにおいて体育と防災教育は共通することを理解する。 各種目を通して体育で育成される体力・運動能力を、災害から身を守る行動に役立てる。				
	3週	【ダンス】 1) 基本的運動 ・歩く、回る、止まる、走る、跳ぶなどの基本的な運動の習得。 2) モチーフ作り ・伸びる、縮むなどの動きを合わせ、1群で同方向、2～3群で方向、時間を変える。 3) 動作の連続 ・フレーズ作りと変化・発展的な動きを生かし、少人数による作品作り。 4) 試験				集団行動のおもな行動様式を身に付け、機敏・的確に行動する。 集団の約束やきまりを守り、お互いに協働して行動する。 グループごとに題材のイメージにふさわしい動きを表現できることと、表現力豊かに気持ちを込めて踊ることができるようにする。				
	3週	【体づくり運動】 ＜新体力テスト＞ 握力・上体起こし・長座体前屈・反復横とび・50m走・20mシャトルラン・立ち幅跳び・ハンドボール投げ				体力・運動能力の状態を確かめるためのテスト。この結果をよく分析して、不足している能力を高めるためにいろいろなスポーツ活動に親しみ、心身を鍛錬して健康で充実した生活が送れるようにする。				
夏休み		レポート課題								
後 期	2週	【バレーボール】 1) 基本的技能 ・パス(1対1、円陣パス) ・サーブ 2) 集団的技能 ・三段攻撃 ・サーブレシーブ 3) ゲーム				基礎的な技能を身につけ、サーブをレシーブし、トスの技術を習得し3回で相手コートに返球できるようにする。また、その攻防での防御の技能を身につけ、ゲームができるようにする。				
	3週	【跳び箱】 1) 跳び箱 ・開脚跳び ・閉脚跳び 2) 試験				跳び方や姿勢の変化、跳び箱の高さに対応し、安定した着地ができるようにする。				
	2週	【ハードル走】 1) ハードリング(振り上げ足、抜き足) 2) インターバル走(リズム) 3) 試験				インターバルの技術を身につけたり、ハードリングの技能を高めながら、自分の記録に挑戦したり競争し合って記録を高める。				
	2週	【保健】 保健③ 生活習慣の健康への影響 1. 生活習慣病				生活習慣病に起因する病気の総称を生活習慣病と呼び、心臓病や脳卒中、歯周病などがあることについて理解する。 運動不足や食事の質と量のかたよりの不適切な生活習慣が生活習慣病のリスクを高めることについて理解する。				
			2. 生活習慣病の予防				不適切な生活行動を若い年代から続けることによって、やせや肥満、動脈硬化などの危険な変化が進行することについて理解する。 予防の基本は健康的な生活習慣を続けることであり、中学生のいまから継続することが重要であることについて理解する。			
			3. がんとその予防				がんは身近な病気であり、胃がんや大腸がんなど、さまざまな種類があり、その種類や状態によって原因の発見のしやすさが異なることについて理解する。 がんは健康的な生活習慣を続けることである程度防げる病気であることについて理解する。			
			4. 生活習慣病・がんの早期発見とその回復				生活習慣やがんは、健康診断やがん検診で早期に異常を発見できることについて理解する。 生活習慣やがんは、早期の治療が命を救い、回復を早めることについて理解する。			
	3週	＜最後の1時間で授業内試験を実施＞ 【ソフトボール】 1) 守備の基本的技能 ・キャッチボール(送球と捕球) ・キャッチング(ゴロ、フライ) ・ピッチング 2) 攻撃の基本的技能 ・バッティング(トスバッティング、ティーバッティング) 3) ミニゲーム				投げる、捕る、打つ、走るなどの基本的技能を身に付け、ゲームができるようにする。				
	2週	【保健】 保健③ 生活習慣の健康への影響 1. 喫煙と健康				たばこの煙に含まれる有害物質とその急性影響について理解する。 常習的な喫煙による健康被害や受動喫煙の害、若者への害について理解する。				
		2. 飲酒と健康				アルコールは脳の働きを低下させる強い作用があり、これにより心や体が影響を受け、様々な問題が引き起こされることについて理解する。 アルコールには依存性があること、継続的な大量飲酒によりさまざまな健康問題が引き起こされること、特に若者には危険があることについて理解する。				
		3. 薬物乱用と健康				薬物乱用によって錯乱状態や急死などを引き起こすこと、薬物乱用により依存症状があらわれ、さまざまな障害が起きることについて理解する。 薬物乱用には、暴力、飛行、犯罪など家庭・学校・地域社会にも深刻な影響を及ぼすこともあることについて理解する。				
		4. 喫煙・飲酒・薬物乱用のきっかけと対処				飲酒・喫煙・薬物乱用には心理的要因や社会的要因があることに気づき、自分の生活経験と関連付けて理解する。 心理的要因と社会的要因に適切に対処するためのポイントについて理解する。				
		＜最後の1時間で授業内試験を実施＞								

教科	保健体育	科目	武道(柔道)	授業 時数	週1時間	教材	種 別	中学
学年 組 類型	中学校2年1組, 2組 (選択)							
	時期	項目			到達目標			
前期	4月	学習のねらい 授業内容、指導方法についての説明 礼法、正座の正しい方法			柔道の歴史や精神を学び、伝統的な行動の仕方である礼法を身につけさせることで、礼儀正しく、他を思いやる態度を養う。特に礼法を習慣づける。柔道の対人的技を基本的な要素となる基本動作を身につけるとともに、安全に留意して練習する態度を養う。全て安全最優先で行う。			
	5月	投げ技の説明・受身の取り方			全ての受身は、頭をつかないようになるまで行う。			
	6月	前方回転受身			スムーズに回転して立てるところまで行う。			
	7月	試験			受身一後・横・前・前方回転受身 受身の取り方を評価する。			
夏 休 み								
前期	9月	災害時の武道場からの避難経路確認、身の守り方 大腰・入り方・かかり練習・打ち込み・投げ込み			安全な経路の確認、自助について学ぶ 崩し、作り、掛けの原理を理解させる。 相手に配慮をした投げ方 大腰のかかり練習、投げ方と受身の取り方、投げる事により、技の合理性と安全性を理解させる。			
	10月	背負い投げ・入り方・かかり練習・投げ込み			かかり練習(打ち込み)受身の取り方を確実にする。投げる方は、相手が受身を取りやすいように投げる。受けは相手が投げやすいように受ける。お互い呼吸を合わせる事を心がける。			
後期	11月	体落とし・入り方・かかり練習・投げ込み			投げは、相手に配慮して投げる。受は投げに投げやすく配慮する。			
	12月	試験			背負い投げ・体落とし・打ち込み—投げる 相手に配慮する投げ方・受身の取り方—を評価する。			
冬 休 み								
後期	1月	大外刈り・入り方・かかり練習・投げ込み			かかり練習をスムーズに行うこと。 投げにはいるために正しい動作を身につける。 安全に受身を取るには、正しい投げ方を行うことを理解させる。投げは、相手に配慮をし、投げる。受は投げに投げやすく配慮する。			
	2月	背負い投げ・体落とし・大外刈りの復習・応用			打ち込み—投げる 相手に配慮する投げ方・受身の取り方			
	3月	試験			背負い投げ・体落とし・大外刈りの中から・打ち込み—投げる 相手に配慮する投げ方・受身の取り方—を評価する。			
春 休 み								

教科	保健体育	科目	武道(剣道)	授業 時数	週1時間	教材		種別	中学
学年 組 類型	中学校2年1組, 2組 (選択)								
時期		項目			到達目標				
前期	4月	1週目《ガイダンス》 (柔道・剣道合同) 2年次の授業内容・学習のねらい 柔道・剣道選択			剣道の歴史や精神を学び、伝統的な行動の仕方である礼法を身につけさせることで、礼儀正しく、他を思いやる心を養う。特に礼法を習慣づける。				
	5月	道着の着装			体のサイズに合った剣道着を着る。				
	6月	構え・足捌き			正しい姿勢の構えから円滑に足捌きを行う。				
	7月	素振り…面打ち三挙動 小手打ち三挙動 胴打ち三挙動			大きい動作で素振りが出来る様にする。 大きい声を出す。				
7月	試験			素振り					
夏 休 み									
前期	9月	災害時の武道場からの避難経路確認、身の守り方			安全な経路の確認、自助について学ぶ。				
		素振り…面打ち一挙胴 小手打ち一挙動 胴打ち一挙動 小手面二挙動 小手面胴三挙動			円滑に連続素振りが出来る様にする。 小手の位置と面の位置を明確にする。				
後期	10月	踏み込み足			姿勢が崩れないように右足で踏み込み左足を蹴って引き付ける。				
	11月	打ち込み…面打ち			姿勢が崩れない様に声・打突・踏み込みを同時にし、気剣体一致の打ち込みが出来るようにする。				
	12月	試験			打ち込み…面打ち				
冬 休 み									
後期	1月	防具のつけ方・しまい方			防具の説明。防具の正しいつけ方。 最後まで丁寧に片付けをする。				
	2月	打ち込み…面打ち・小手打ち・胴打ち			防具を着けても正しい姿勢で正しく竹刀が振れるようにする。				
	3月	試験			打ち込み…面打ち				

教科	技術家庭	科目	技術家庭 (家庭分野)	授業 時数	週2時間	教材	開隆堂 技術・家庭 (家庭分野)	種別	中学
学年 組 類型	中学校2年1組, 2組								
	時期	項目			到達目標				
前期	4月 5月 6月	B 衣食住の生活(衣生活) 1 目的に応じた衣服の選択 2 日常着の手入れと保管 3 生活を豊かにするものの製作 被服実習(エプロン製作) B 衣食住の生活(食生活) 5 地域の食文化 6 献立づくり 4 日常食の調理 第1回定期試験			<ul style="list-style-type: none"> ・衣服と社会とのかかわりを考え、目的に応じた着用や個性を活かす着用を工夫することができる ・衣服の正しい表示の見方を理解し、自分に合った既製服を選ぶことができる ・ミシンや裁縫道具の使い方を学ぶことができる ・基礎縫いを身に着け、生活に活かすことができる ・衣服の特徴や素材を知り、必要に応じた手入れや補修を理解し、生活に活かすことができる ・地域の食文化を学び、理解することができる ・献立の立て方を学び、理解することができる ・様々な切り方を理解し、調理に適した切り方を生活に活かすことができる ・調味料や食材の正しい計り方を学び、生活に活かすことができる 				
夏休み		生活課題と実践 家族のために一食分考え、作り、レポートにまとめる 郷土料理を調べ、レポートにまとめる			<ul style="list-style-type: none"> ・家族を思い献立を考え、実際に調理することができる ・地域の食文化を学び、理解することができる 				
前期		B 衣食住の生活(食生活) 1 食事の役割と食習慣 調理実習①: 切り方の基礎			<ul style="list-style-type: none"> ・様々な切り方実践し、生活に活かすことができる ・食事の役割や健康によい食習慣を学び、規則正しく食事をとることの重要性を理解する 				
後期		2 中学生に必要な栄養を満たす食事 3 さまざまな食品とその選択 調理実習②: 日常食 第2回定期試験			<ul style="list-style-type: none"> ・食品の栄養的特性により、食品群に分類されることを理解することができる ・生鮮食品や加工食品の種類や特徴を学び、目的に応じた選択ができる ・正しい食品の選び方、保存方法を学び、日々の生活に活かすことができる ・調理上の安全と衛生に留意しながら、目的にあった調理器具等を適切に使い、調理することができる 				
冬休み									
後期		B 衣食住の生活(住生活) 1 住まいのはたらきとこちよさ 2 安全な住まいで安心な暮らし 第3回定期試験			<ul style="list-style-type: none"> ・住まいの基本的な役割、空間の使い方について理解することができる ・災害に備え、室内を安全に整備する必要とその方法について理解することができる 				
春休み									

教科	英語	科目	英語, 英語T	授業 時数	週5時間 (うち1時間は英語T)	教材	NEW CROWN English Series 2	種別	中学
学年 組 類型	中学校2年1組, 2組								
時期	項目				到達目標				
前期	4月	Lesson 1 Peter Rabbit 英語T: Talk 1 質問する、情報を加える Dialog : May I ~ ?			will, be going toの未来を表す表現を読んだり聞いたり、相手に伝えることができる また、それらを使って自分がこれからすることをまとめた文章にできる力を身につける 英語Tでは、身の回りにあるものをThere is, There areを使って表現する				
	5月	Lesson 2 My Dream 英語T: Talk 2 意見を言う、賛成する Dialog : It is ...to~			接続詞(When~, If~, because, I think that~, and, or, but)を使い、文と文や語句と語句をつないでよりまとまった文章表現ができる力をつける 不定詞(名詞的用法、副詞的用法、形容詞的用法、It is ... to~) を使い、スピーチの原稿を読み概要を掴む、将来の夢について発表する				
	6月	Lesson 3 Every Drop Counts Part 1 英語T: Dialog : must, must not 教科書音読テスト (Lesson1~2) スピーキングテスト: My Dream			there is 構文を使い、人物紹介の記事を読み概要を掴む、即興で町紹介のスピーチをする、前置詞の表す位置や方向、手段、時間のイメージをつかむ				
	7月	第1回定期試験			[試験範囲]・・・Lesson 1 ~Lesson 3 part 1				
夏休み	8月	夏休みの課題			苦手分野の克服				
前期	9月	Lesson 3 Every Drop Counts Part2 英語T: 教科書音読テスト (Lesson3) 防災に関する学習			動名詞 を使い、環境プロジェクトの紹介記事を読む、イベントの出し物を話し合う 防災に関する授業を扱う				
後期	10月	Lesson 4 Uluru 英語T: Talk 3 つなぎ言葉、説明を求める Dialog : have to, don't have to			svoo, svcc の文を使い、ガイドブックのコラムを読み要点を掴む、行ってみたい国についてのエッセイを書く、空港でのアナウンスを聞き取る				
	11月	Lesson 5 Things to Do in Japan 英語T: Talk 4 誘いに応じる、誘いを断る Dialog : how to ~ 教科書音読テスト (Lesson4~5) Q&Aテスト			助動詞が動詞に意味を加える働きをすることを学び、表現できるようにする 比較 の表現を使い、メールを読み要点を把握する、レポートを書く、ラジオのイベント情報を聞く、修学旅行のプランを提案する、Season's Greetingを書く				
	12月	第2回定期試験			[試験範囲] Lesson3 part2 ~Lesson5				
冬休み	1月	冬休みの課題			苦手分野の克服				
後期	1月	Lesson 6 Tea from China 英語T: Talk 5 困っていることを伝える Dialog : Could you ...?			現在完了形の継続用法 を使い、ウェブサイトの記事を読む、おみやげに添えるカードを書く、ラジオの臨時ニュースを聞き取る、好きな料理のrecipeを書く				
	2月	Lesson 7 Rakugo goes Overseas 英語T: Talk 6 意見を言う、反対する 教科書音読テスト (Lesson6~7) スピーキングテスト			現在完了形の経験・完了用法 を使い、インタビュー記事を読み要点を捉える、ALTに即興で質問する、行事のポスターを書く				
	3月	第3回定期試験			[試験範囲] Lesson 6 ~Lesson 7				
春休み	3月	春休みの課題			中2までの復習				

備考

外国語教育に期待されることの一つは、多様な価値観を持つ世界の様々な文化や、地球環境などの諸問題に自らを関係づける力をつけることです。ほとんどの生徒にとって、英語は初めて触れる外国語です。コミュニケーション能力が強く求められる現代において、“英語が使える”ことは当然のこととなりつつあります。聞く・話す・読む・書くの4つの技能の学び合いを通して、視野を広げ、同時に自分の考えや、自分たちの文化を外に発信していく力を養います。

【英語Tについて】

週1回の英語Tの授業は、英語ネイティブ講師と、日本人教員によるチームティーチングで行います。多様なトピックを題材に、人の前に立って堂々と自分のことや考えを話す練習を積み、最終的に「英語でのスピーチ、ディスカッション」ができるように指導していきます。ゲーム感覚で楽しく語彙を増やししながら、自分のことや考えを上手に人に伝える力と態度を養います。

【英語検定について】

英語検定は年3回実施されます。2年生は、第3回(1月)に学校で全員受検をします。第1回(6月)と第2回(10月)は任意受検ですが、自分の目標に応じて積極的に受検しましょう。

【授業で扱う副教材】

- ・New Crown ワークブック ・新中学問題集
- ・英検3級 での順パス単 ・英検パスコース 3級
- ・Everybody Up level4 (英語Tの授業で使用)

教科	道徳	科目	道徳	授業 時数		週1時間		教材	新しい道徳2 (東京書籍)	種別	中学
学年 組 類型	中学校2年1, 2組										
時期		項目					到達目標				
前期	生徒の状況・ 行事等の関連 で教材・授業 内容を適宜選 択して実施	<p>・エゴグラム診断(4月実施)</p> <p>・自分自身に関すること 自ら考え、責任を持つ/安全で健康な社会/自分の個性を のばす/希望と勇気、強い意志/真理を探究する</p> <p>・他の人との関わり 思いやり、感謝/礼儀/友情、信頼/認め合う心</p> <p>・集団や社会とのかかわり 法や決まり、権利と義務/差別や偏見のない公正・公平な 態度/社会や公共の為に役立つ/働くことの尊さ/家族の 幸せのために/集団の中の自分の役割/郷土のことを考 える/わが国のことを考える/国際理解・国際貢献</p> <p>・生命や自然、崇高なものとの関わり</p>					<p>・人間としての生き方を考え、主体的な判断の下に行動 する。</p> <p>・自立した人間として他者と共によりよく生きるための基 盤となる道徳性を養う。</p> <p>・人間の尊重と生命の畏敬の念を具体的な生活の中に 生かす。</p> <p>・国と郷土を愛し、個性豊かな文化の創造に努める。</p> <p>・社会の形成者として、公共の精神を尊び、社会</p> <p>・国家の発展に貢献する主体性のある日本人としての 自覚を持つ。</p> <p>・自ら考え、創造し、実行する力を培い、キャリア形成と 結びつけ、活かす力を養う。</p> <p>・防災に関する意識を高める。</p>				
夏休 み		かけがえのない生命/自然を守る/美しいもの、気高いも の、大いなるもの/よりよく生きる喜び/防災									
前期		<p>【グループコミュニケーション】 1年前の私への手紙(目標思考力を育てる)・マナーにつ いて考える(道徳心を育てる)・LINEの利用を考える・もし あなたが教師だったら(規則を守る大切さを確認する)・み んなに一言～思いは言葉で伝えよう～(考える力を育て る)・夢をつかめ(目標思考力を育てる)・いじめについて 考えよう(道徳教育)</p>									
後期		<p>※エゴグラム診断(10月実施)</p> <p>あなたならどうする?(考える力を育てる)・時は金なり(考 える力を育てる)・「やりがい」か「お金」か(考える力を育 てる)・自分を励ます言葉(目標思考力を育てる)・先輩の 悩み～進学編～(考える力を育てる)・アサーショントレ ーニング(自己主張力を育てる)・「もったいない」が地球を 救う(考える力を育てる)・「挑む」と「逃げる」(目標思考力 を育てる)</p>									
冬休 み											
後期											
春休 み											
※成績は学年末に文章で評価を記載											